天

毎月第３日曜日発行

2025 11月号 Vol.192

湖東・湖北

毎日ナビ

毎日新聞湖北ブロック会　協賛
湖北ブロック会事務局（毎日新聞彦根城東販売所）
滋賀県彦根市地蔵町 120-105　TEL.0749-26-9673
制作 / オフィスいしやま（毎日新聞大津販売）

湖東

彦根

「滋賀県妖怪事典」発行
1000体を50音順に紹介

「滋賀県妖怪事典」（A5判、284ページ）が彦根市鳥居本町のサンライズ出版から発行された＝**写真**。著者は県内在住の小説家の峰守ひろかずさん。漫画家、久正人さんのイラストも8点盛り込んでいる。税別で2700円。

県内の伝承や行事を元に妖怪1000体を集め、50音順に紹介している。おなじみの「狐」「天狗」「河童」のほか、伊吹山の巨人「伊吹弥三郎」、野洲市三上山に現れる「大ムカデ」など土地由来のものも多数。「類似した話でも細部が異なれば全部掲載する」が原則で、同名の妖怪が何度も登場する。各話の末尾に出典も記され、図書館に行けば原典に当たることもできる。

峰守さんは1981年生まれ。第14回電撃小説大賞「ほうかご百物語」で2008年にデビューし、妖怪や伝承を扱った作品を多く手がけている。

【彦根通信部・伊藤信司】

湖北

長浜

秋の曳山　豪華絢爛
町衆ら「よいさ、よいさ」

収蔵庫から引き出された曳山＝長浜市提供

長浜曳山まつりの曳山を収蔵している曳山博物館（長浜市元浜町）とその周辺で10月11日、秋の曳山巡行があった。市街地に繰り出した豪華絢爛な曳山が観光客の目を楽しませた。

来年の出番山となる孔雀山、常磐山、翁山、萬歳楼が博物館の収蔵庫から引き出され、町衆が「よいさ、よいさ」と掛け声を上げながら各山蔵まで引っ張った。入れ替わりで、再来年の出番山となる春日山、諫皷山、青海山、月宮殿が博物館に搬入された。

今年は町内外や一般の観光客にも楽しんでもらう企画を充実させた。初めて行われた「山曳き体験」では、高校生が力を合わせて曳山を引く姿も見られた。また、小学生を対象に曳山の重さを体験するイベントや曳山を見ながら飲食が楽しめる「やまカフェ」なども実施され、例年以上の盛り上がりを見せた。

【長浜通信部・長谷川隆広】

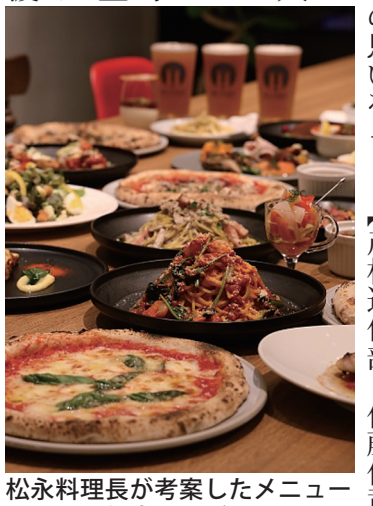
「PIZZERIA AZZURRI」開店
和洋ハイブリッド料理

彦根

彦根市本町2のホテル「THE BANK」に地元食材を生かしたバルがオープンした。店名は「PIZZERIA AZZURRI（ピッツェリア アズーリ）」。アズーリはイタリア語で「たくさんの青」を意味する。空、海、琵琶湖のように青く深く、お客さんに開放的な非日常を味わってほしい――との思いを込めた。

料理長の松永亮太さんは1988年生まれ。県立長浜高、エコール辻大阪で学んだ後、東京・白金のフレンチレストランで修業。さらに渡仏し、星付きレストランでも腕を磨いた。和食やスパニッシュなども経験。ハイブリッドな料理スタイルを確立したという。「高価な食材に頼るのではなく、一人一人のお客さんの心に寄り添い、料理でささやかな幸せを届けたい」がモットーだ。60席で水曜定休。

【彦根通信部・伊藤信司】


松永料理長が考案したメニュー＝一圓興産ウェブサイトより

大塚孝彦さん凱旋公演
フォークソングに酔いしれ

長浜

長浜出身のフォーク歌手、大塚孝彦さんが10月4日、長浜市大宮町の文泉堂で凱旋コンサートを開いた。大勢の客が来場し、懐かしのフォークソングに酔いしれた。「はしだのりひことエンドレス」のメンバーだった歌手の北村謙さんも出演した。

大塚さんは1942年生まれ。長浜小学校を卒業し、その後、京都に移住。同志社大学に在学している頃からカントリーを経て、本格的にフォークの世界に入った。現在はカントリーミュージシャンとして活動を続けている。

この日のセットリストは、アメリカンフォークに始まり、「イムジン河」「竹田の子守歌」など。衰えを感じさせない歌声で魅了した。昔の京都のフォークシーンにまつわる思い出話も織り交ぜながら、それぞれの持ち歌も披露。最後は「戦争を知らない子供たち」「あの素晴らしい愛をもう一度」を客席と一体になって歌い上げた。

【長浜通信部・長谷川隆広】

凱旋公演で演奏する大塚孝彦さん（手前）